

市議会の新体制決まる

常任委員会 定数10人 議会に提出された議案を分野別に審査します。議員はいずれかの委員会に所属し、任期は1年です。

総務委員会

危機管理、防災、総合計画、行政改革、財政などを所管



保健消防委員会

保健医療、高齢者・障害者の福祉、救急、消防、病院などを所管



環境経済委員会

市民協働、文化・スポーツ振興、環境保全、ごみ、経済振興、農業などを所管



教育未来委員会

子どもの福祉、子育て、教育、生涯学習などを所管



都市建設委員会

まちづくり、公園、住宅、道路、上下水道などを所管



自由民主党千葉市議会議員団

中島 賢治

災害発生時の救助権限を市に移譲する法改正への対応は

問 災害救助法が改正され、国に申請し、指定を受ければ、県から委任等を受けることなく被災者の救助を行えることとなつたが、市はどう対応するのか。

答 法改正の検討段階から行つてゐる県との情報交換を継続し、相互の役割分担を再確認するとともに、災害救助を円滑かつ迅速に行つ体制づくりに努める。また、既に指定を受け災害救助活動の実績を有する政令市の動きを注視するなどしつつ、県市間で協議を行い、速やかに検討する。



未来立憲民主しば

白鳥 誠

児童相談所の増設への見解は

問 児童虐待防止対策の強化を図る上で、児童相談所の増設是有用であると考えるがどうか。

答 児童相談所を2か所に増設する支援体制の抜本的強化が必要と認識しているが、実現には適切な設置場所の確保や周辺住民への説明など、慎重な対応が必要なため、一定の期間を要すると考える。まずは来年度より、事例対応・組織運営のマネジメント強化を図るために、現施設内で、組織としては2所体制とし、業務の安定化を進めながら、可能な限り早期に、2か所目の増設を実現したい。



市長選挙後初の定例会であるため、神谷新市長が第1回臨時会で表明した市政運営方針などに対し、各会派を代表して5人の議員が質疑を行いました。その一部をご紹介します（詳しくは市議会ホームページの「議会中継（録画放映）」でもご覧いただけます）。

公明党千葉市議会議員団

近藤 千鶴子

認知症の早期発見・治療の仕組みづくりについて

問 認知症の早期発見・治療に結び付く仕組みの構築を提案するが、見解は。

答 認知症初期集中支援チームとかかりつけ医等が連携した支援体制から、専門医療につなげるなど、早期発見・治療の体制充実に努めている。今後、認知機能の低下を測る簡易的な検査の導入など早期発見につながる新たな体制の構築についても検討する。

千葉市議会自由民主党・無所属の会

阿部 智

新型コロナウイルスワクチンの余剰対策は

問 余剰ワクチンの接種対象者やキャンセル待ち制度について伺う。

答 当日キャンセルなどにより、空き枠が発生する場合、接種券を持つ65歳以上の方等を優先的に接種し、次に、12歳以上の住民票を持つ市民に接種する。また、各医療機関には、キャンセル待ちリストの作成を依頼するとともに、集団接種会場でも同様のリストを作成している。

日本共産党千葉市議会議員団

中村 公江

給食費の第3子以降無償化の即実施を

問 給食費の第3子以降の無償化は、直ちに実施すべきではないか。

答 第3子以降無償化は、多子世帯の経済的負担軽減のため実施するが、コロナ禍の家計支援にもつながるため、全額減免の現物支給を予定している。これに必要なシステム改修のほか、申請手続きに時間がかかるため、最短で来年1月分からの実施となる。

特別委員会

定数11人（○は委員長、◎は副委員長）

2つ以上の常任委員会に関する案件や、特に重要な問題の調査・研究を行います。

大都市制度・基本計画・市制100周年調査特別委員会

大都市の実態に対応した行政制度の確立及び地方分権の推進や、基本計画の策定、市制100周年記念事業の実施に係る取り組みの総括について調査します。

○石井 茂隆 ○渡辺 忍 桜井 秀夫 安喰 初美
川合 隆史 植草 豊 向後 保雄 岩井 雅夫
段木 和彦 川岸 俊洋 三須 和夫

超高齢社会調査特別委員会

団塊の世代が後期高齢者となる2025年を見据え、超高齢社会に伴う諸問題について調査します。

○村尾 伊佐夫 ○伊藤 隆広 鶴見 隆仁 前田 健一郎
伊藤 康平 亀井 琢磨 田畠 直子 白鳥 誠
宇留間又衛門 石橋 毅 野本 信正

議会運営委員会

定数11人（○は委員長、◎は副委員長）

議事日程や議案、意見書、請願、陳情の取り扱いなど、議会の運営に関することを協議します。

○中島 賢治 ○近藤 千鶴子 桜井 秀夫 阿部 智
石川 弘 亀井 琢磨 田畠 直子 川合 隆史
桜澤 洋平 櫻井 崇 米持 克彦

監査委員

市の事務事業が適正かつ効率的に実施されているか監査を行います。監査委員4人のうち2人が議員から選任されています。

小松崎文嘉 麻生 紀雄

会派等構成

議員定数50人（令和3年7月8日現在）

会派名	人数	役員及び構成員
自由民主党 千葉市議会議員団	12	幹事長 中島 賢治 副幹事長 石川 弘 相談役 米持 克彦 宇留間又衛門
未来立憲民主しば	11	幹事長 川合 隆史 副幹事長 渡辺 忍 副幹事長 川合 隆史 直子 麻生 紀雄 相談役 三須 和夫 石井 茂隆
公明党 千葉市議会議員団	8	幹事長 近藤 千鶴子 副幹事長 村尾 伊佐夫 幹事長 阿部 智 向後 保雄 副幹事長 桜井 崇 橋本 登
千葉市議会 自由民主党・無所属の会	8	幹事長 中村 公江 副幹事長 桜井 崇 橋本 登
日本共産党 千葉市議会議員団	6	幹事長 中村 公江 副幹事長 桜澤 洋平 会計幹事 盛田 真弓 会計 伊藤 隆広
市民ネットワーク	3	幹事長 松井 佳代子 会計 岩崎 明子 山田 京子
無所属	1	蛭田 浩文
無所属	1	岡田 慎

常任委員会

総務委員会

議案2件

ふるさと納税の返礼品の拡充予定は

問 現在の返礼品の種類や数は、また、市の魅力発信、地元特産品のPR、地域の活性化につながるような返礼品の拡充予定について伺う。

答 現在、市美術館のチケットや地元産野菜等26品目を用意している。公募により返礼品を拡充する予定だが、現時点では、本市の食のブランド「千」認定の農産物等や市内農園での収穫体験等を候補に考えている。今後、さらに本市へ関心や愛着を持ってもらえる魅力ある返礼品の拡充に努める。

問 抗がん剤治療等による副作用で脱毛症を発症するがん患者を対象に、上限を3万円として医療用ウイッグ購入費の2分の1を助成するとしているが、助成額の拡充が必要ではないか。

答 ウィッグの値段はさまざまだが、助成を行っている他政令市では、助成率50%、上限額1~3万円のところが多く、近年の導入事例を参考に、上限額を3万円とした。今後のニーズについては、引き続き検討したい。

環境経済委員会

議案2件

就職氷河期世代の就労マッチングの実現性は

問 コロナ禍で採用を行う企業は少なく、また、人手不足は介護業界等であり、就職希望者も少ないと思うが、マッチングの実現性を伺う。

答 ハローワーク千葉の管轄区域内の有効求人倍率は1倍を超えており、職種転換のきっかけをつくり、自信をつけていただくことでマッチングは成立すると考えている。また、企業にインターネット受入準備金や採用奨励金を支給することで、より一層雇用に結びつけられると考えている。

問 使用済紙おむつ処理費助成で軽減される負担は

問 民間保育園等での使用済